

# 東京 橋と土木展 Exhibition

Bridge & Civil engineering

11/21(月)~11/24(木) 8:00~21:00

新宿駅西口広場イベントコーナー 入場無料

※初日は13時から、最終日は17時まで開催致します。

主催：東京都建設局 展示協力：東京大学、昭和女子大学

お問い合わせ：東京都建設局道路管理部保全課 TEL 03-5320-5295

### 橋と土木の世界をお楽しみ下さい

昨年までの「東京の橋パネル展」から通算し6回目となる今回は、関東大震災の復興事業で架けられた橋にスポットをあて、写真や図面のほか、「永代橋」、「蔵前橋」の模型、長寿命化工事により新設された支承の実物大模型などを展示します。

また、東京の街づくりに土木が果たした役割を実感して頂くため、「新宿駅」の複雑な通路・地下道を忠実に再現した立体模型と、駅の変遷が分かる地形模型なども展示します。

これらのパネル、模型などを通じて東京に架かる橋と土木の魅力を体感して頂ければ幸いです。



永代橋模型

現在の永代橋は、大正15年に関東大震災の帝都復興事業で架け替えられ、今年で90歳となります。この橋は、国内で初めて支間長（橋脚間の距離）が100mを超えた、我が国の橋梁史上記念碑的な橋で、平成19年には、勝鬨橋、清洲橋とともに国の重要文化財に指定されました。今回は、関東大震災で被災した旧永代橋の架け替えにあたって製作された現橋の1/100の精巧な模型を展示します。また、同様に蔵前橋の1/100の精巧な模型も展示します。なお、両模型は、東京大学の所蔵です。



永代橋新支承模型（実物大）

大きな地震が起きた場合でも、支承が損傷することなく、地震後も安全に通行できるように新しい支承を追加しました。今回は、永代橋に設置した新支承の実物大模型を展示します。



新宿駅立体模型（イメージ）

明治18年、日本鉄道により赤羽-品川間の路線（現在の山手線）が開設されたときに新宿に鉄道の駅ができました。国有化、私鉄の乗り入れ、震災、戦災復興の歴史を経て、近年では、一日平均乗降者数が世界一多い駅となりました。今回は、昭和女子大学が製作した現在の複雑な新宿駅の1/100模型を展示します。なお、写真は、渋谷駅立体模型です。